

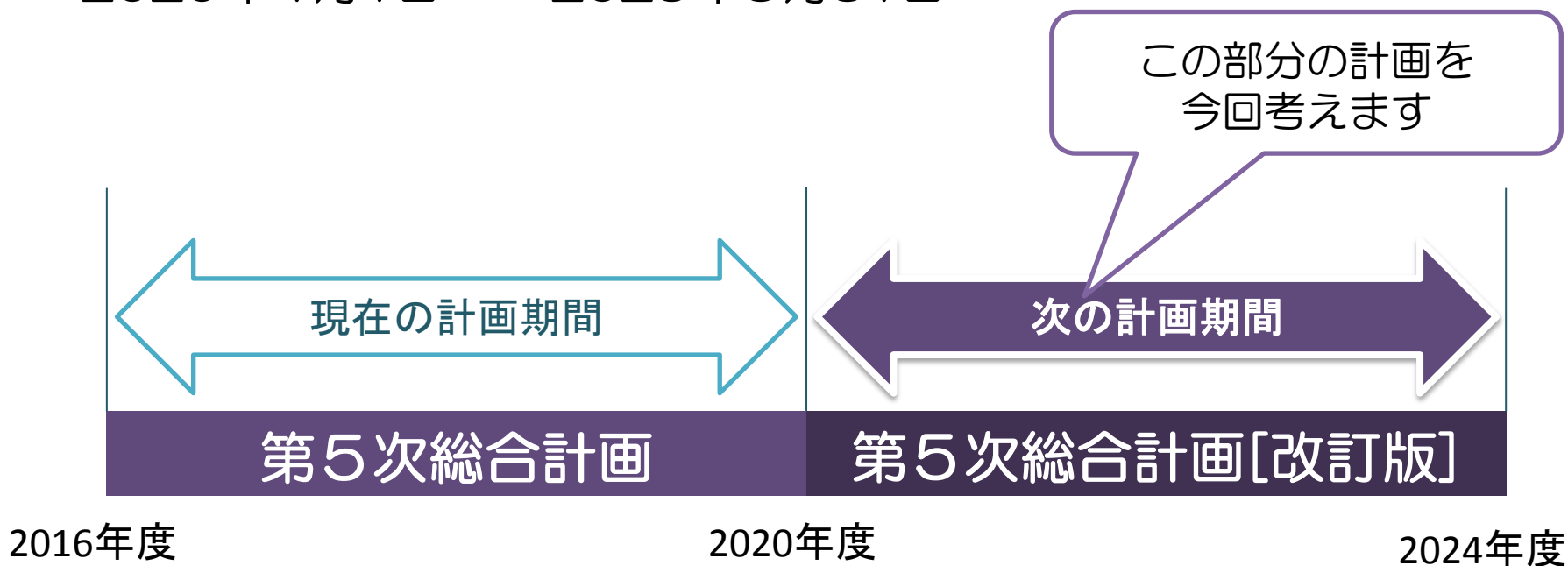
「総合計画」と「地域づくり会議」

総合計画とは

安心して住み続けられるまち、魅力あるまちにしていくための、松川町全般にわたる政策や方針を定める計画。すべての町の計画のもとになる。

計画の期間

2020年4月1日 ～ 2025年3月31日



◇計画策定のための3つの組織と地域づくり会議

総合基本計画審議会

□位置づけ
諮問機関

□役割
必要な調査と審議

□組織
25名以内

□構成
松川町議会議員
学識経験者
一般公募（2名以内）
町長が必要と認める者

策定委員会

□位置づけ
計画策定の中心(主体)

□役割
計画原案の作成
審議会や地域づくり会
議での意見の調整

□組織
42名

□構成
副町長
課局長
係 長

地域づくり会議

□位置づけ
住民の皆さんによる
提案・意見

□役割
まちづくりの将来像や
そのために必要な施策
等についての自由な意
見交換や提案

□組織
30名以内

□構成
各分野で活躍されてい
る住民の方々の中から
選出（一般公募含む）

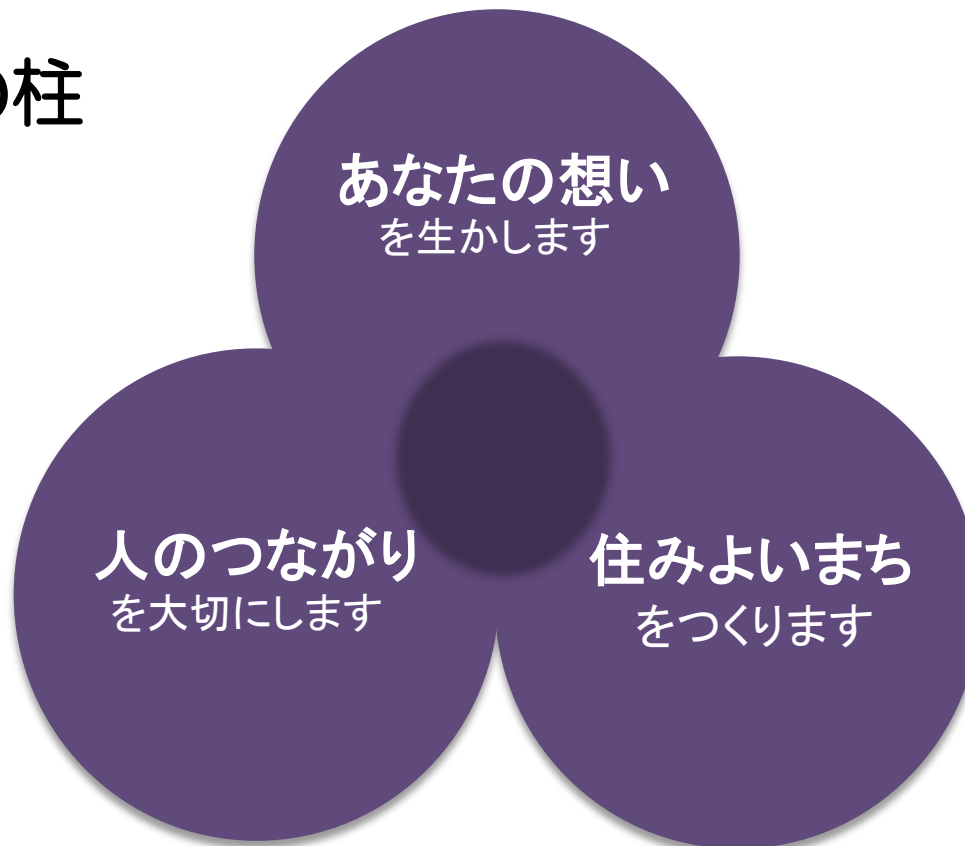


◇基本構想 ～松川町の将来像～

「いっしょに育てよう 一人ひとりが輝く

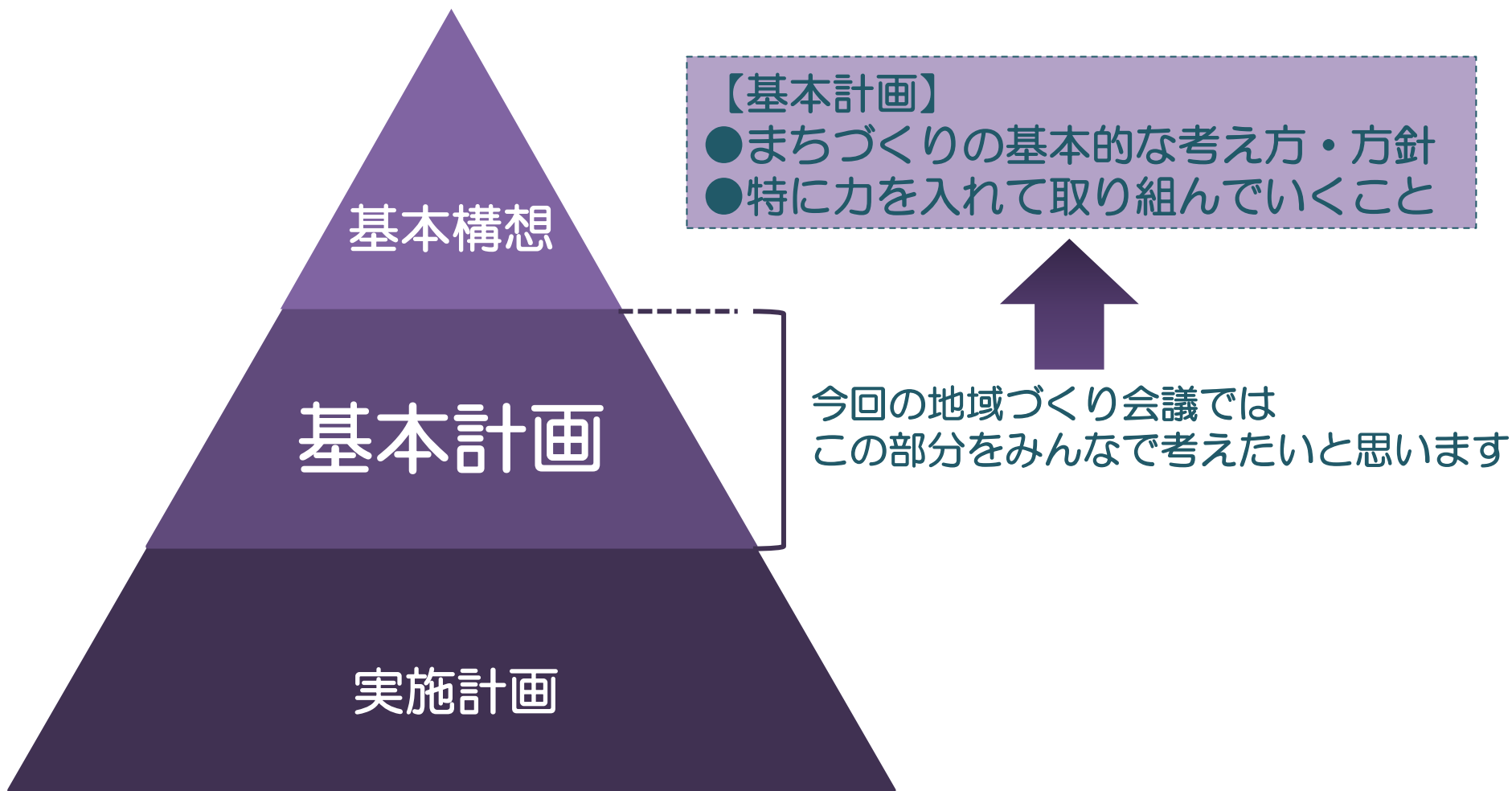
笑顔あふれるまち まつかわ」

◇3つの柱



➡ この基本構想（将来像と3つの柱）を、次の計画でも大事にしていきます。

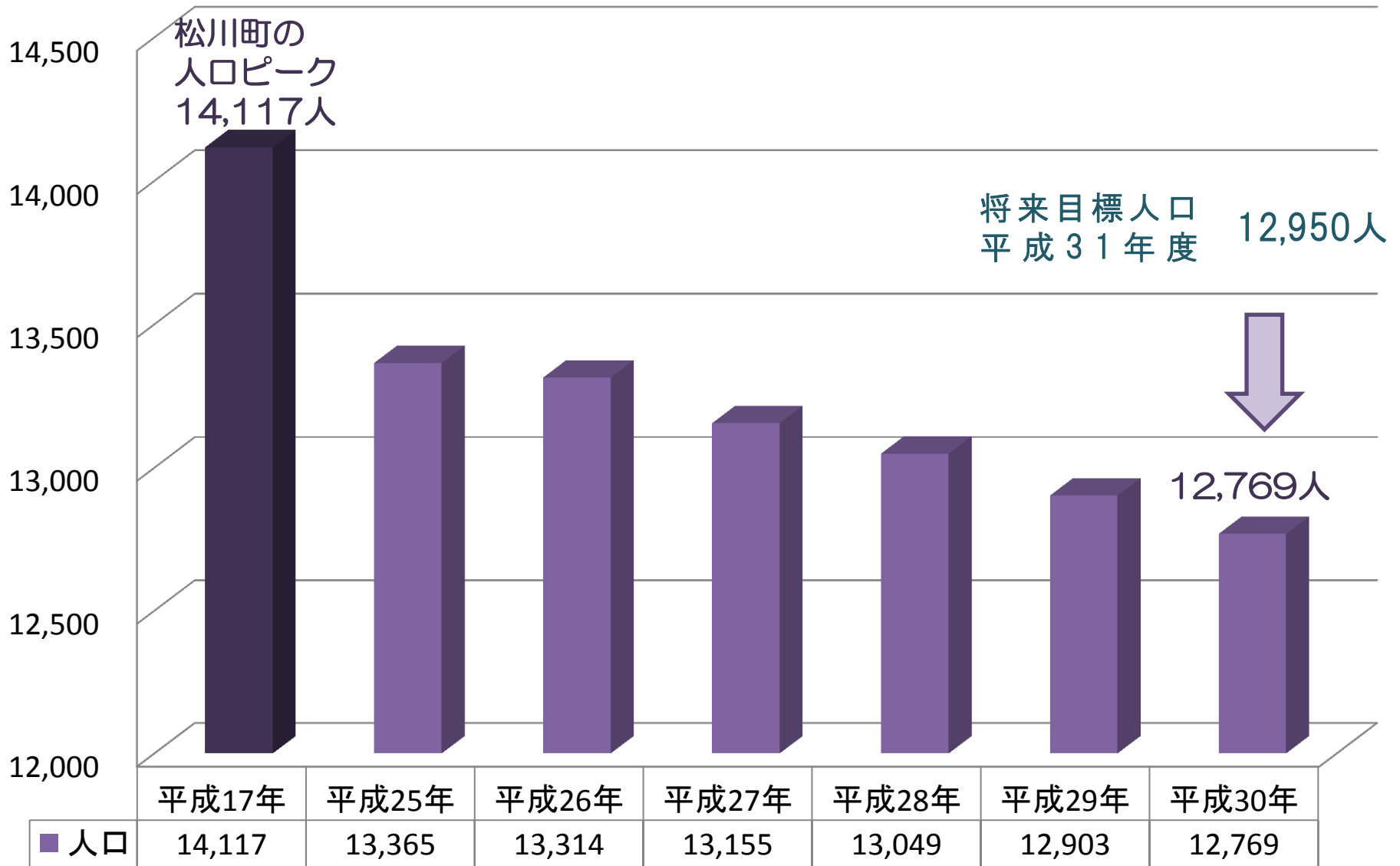
◇計画の構成とこの会議で考えたい部分



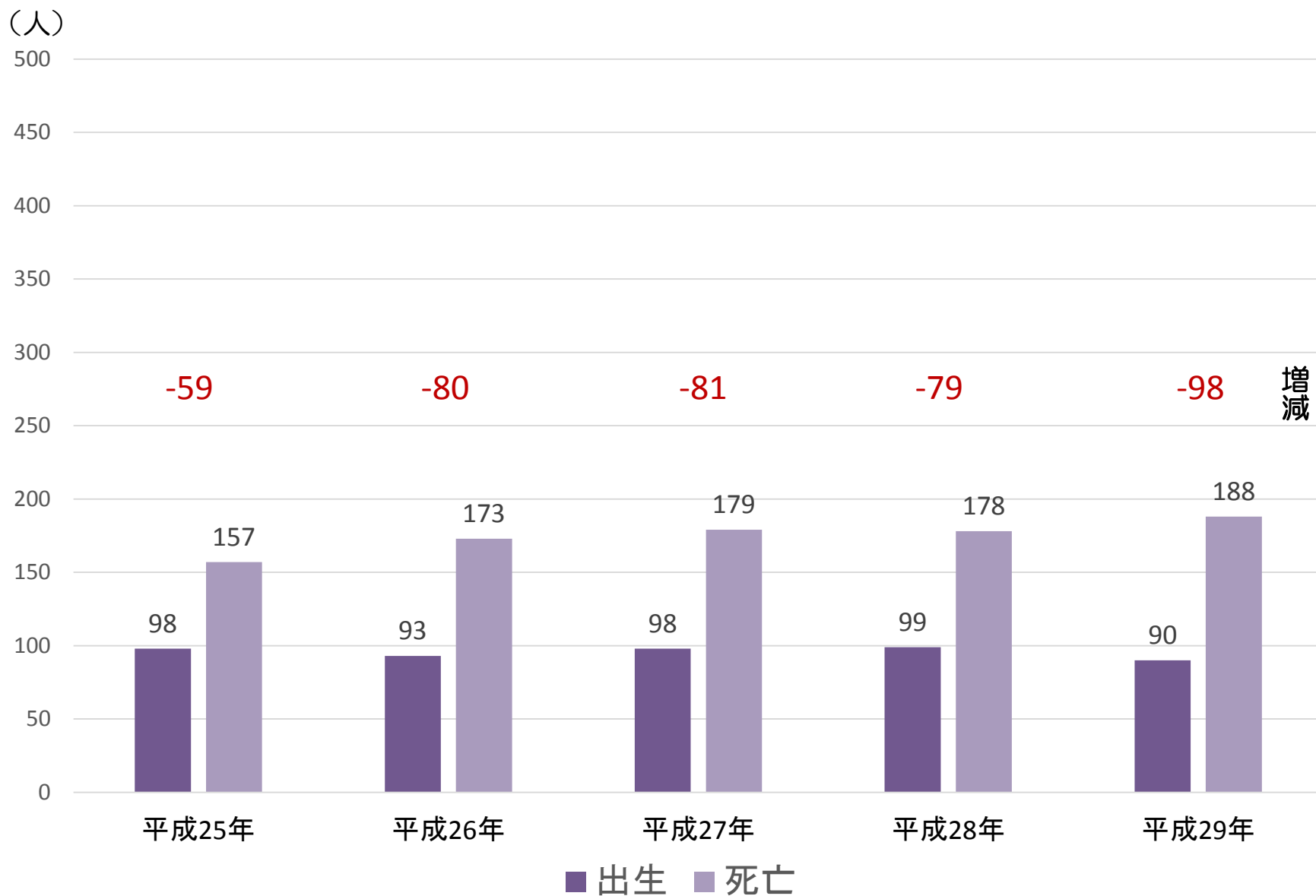
松川町の人口

1. 松川町の人口の推移

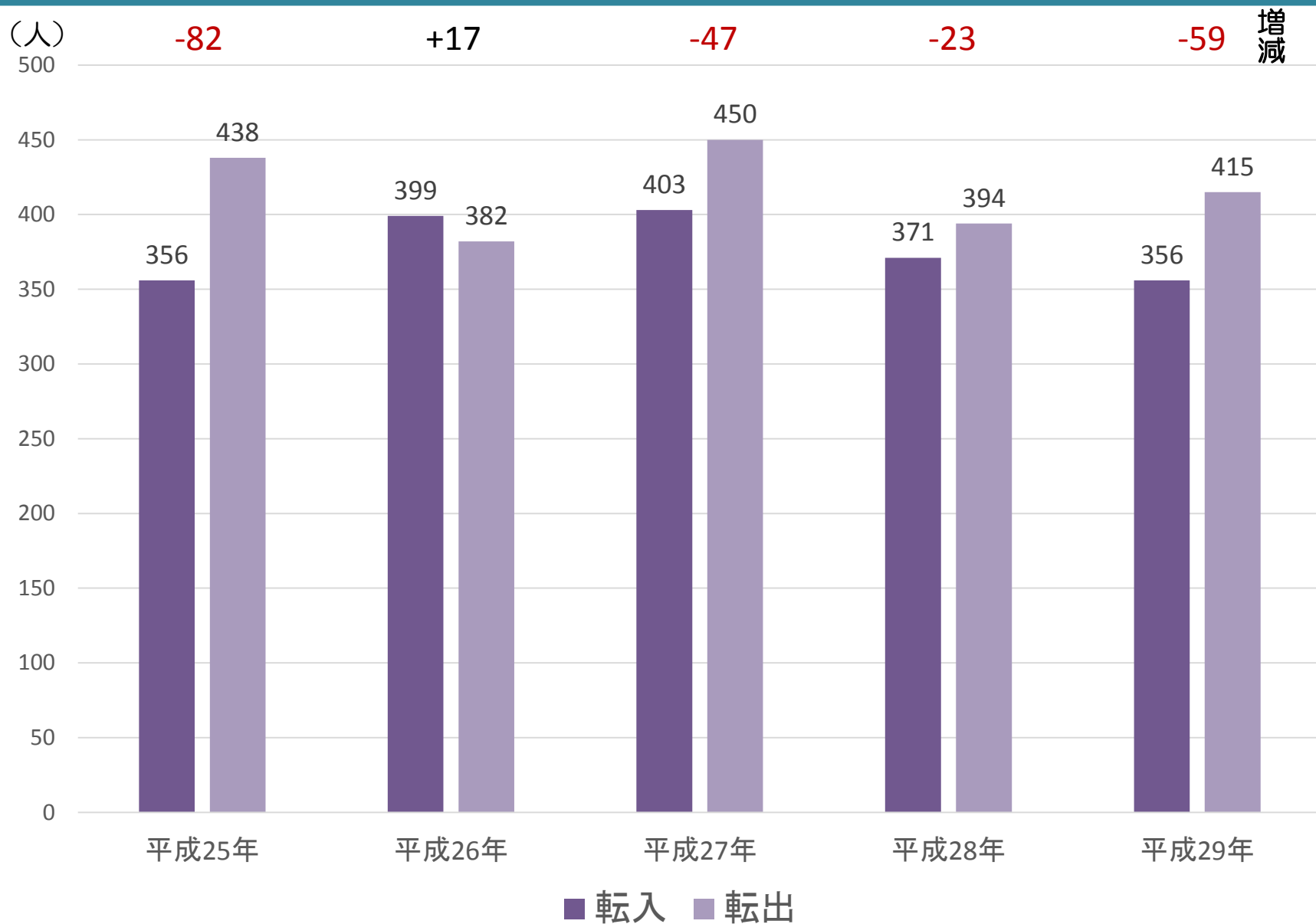
(毎年10月1日現在)



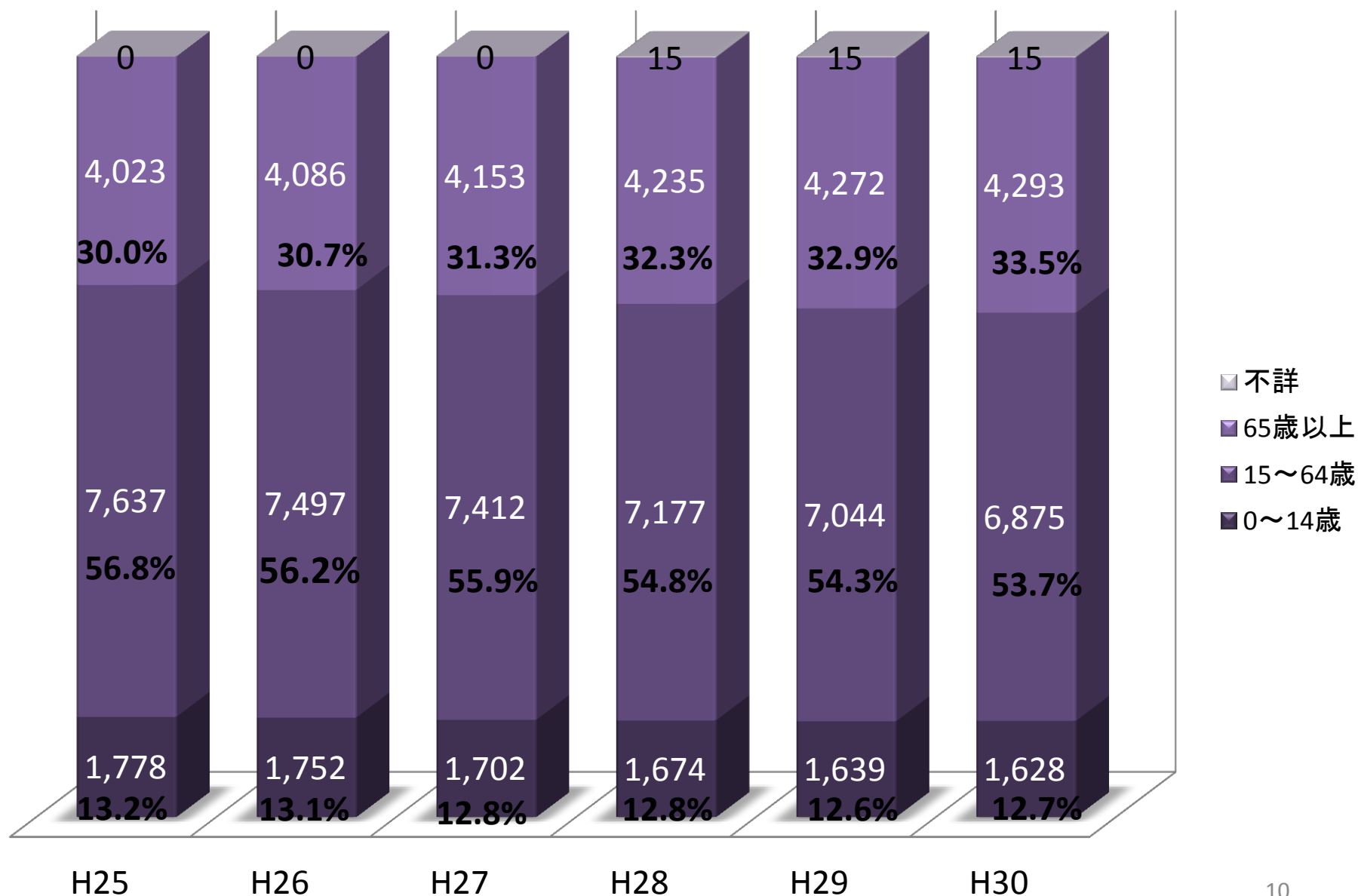
2. 松川町の人口動態（自然増減）



3. 松川町の人口動態（社会増減）



4. 松川町の年齢層別人口構成の割合とその推移



メモ欄

本日のテーマ

本日のテーマ

◇テーマ

「松川町の現状と これからの持続可能な
地域づくりを考える」

◇話し合う内容

- ①普段の生活の中で、町の人口減少を実感として感じること
（例：空き家が増えた、遊休農地が増えたなど）
- ②持続可能な地域づくりに向けて、どんなことを大切にして
いったらよいか。（人口減少、少子高齢化、国際化、情報化etc…）